

25journal

society&business Tokyo25 journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

森村隆行都議 特別インタビュー 都議選 幅広い支援層で大きな票

都議会の改革進展 DXは今後、都政の1丁目1番地

弱者に光 社会政策大きな成果

昨年の都議選青梅選挙区で再選を果たした森村隆行都議(都民ファーストの会)に2期目の抱負を聞いた。議会改革や社会政策で大きな成果を出していることや、今後は都政でDX(デジタルトランスフォーメーション)を積極的に進めていくことなどを力強く語った。

(岡村信良)

元来ベンチャー志向の仕事人生

より良い都政へ積極的に挑戦

昨年の都議選は自民新人候補に圧勝した。その4年前は百合子グリーン旋風で勝った。今回は都知事選の支持率はそれほど高くないものの、

「因は何か。森村 接戦が予想されていた。都議選の1人区はスイングシテールで勝れば十分と思っていた。投票区はスイングシテールで勝れば十分と思っていた。投票区はスイングシテールで勝れば十分と思っていた。」

と呼ばれ、連続当選が難しい激戦区だと聞いてきた。青梅選挙区では近年、自民の野村有信氏、民主の山下容子氏、自民の野村氏、そして前回は私と選挙ごとに当選者が変わっており、私の連続当選は都民ファーストの会内でも厳しい見立てだったと思う。それでも皆さんの支援で大きな票をいただいた。投票所で森村と書いてくれたのは保守から革新まで幅広くあったのではなにかと思う。市議では改革保守の青梅市民フォーラムの皆さんや飛騨紀子市議が力になってくれた。連合東京をはじめとする様々な団体の応援、とりわけ青梅の未来を創る会の献身的な支援には感謝している。

「幸い、総務局や政策報道室など主要な部署に配属され、比較的早い時期に管理職にも登用された。結果的に25年間勤務も順調に昇進している。ものごとを動かせる人脈はある野市の街づくり



インタビューに答える森村都議

の逆風が吹いていたが、それ以上に青梅インターチェンジ周辺の開発などで都政を動かす日常活動が評価されたと思う。

森村 私はベンチャー志向の仕事人生を生きてきた。前職では新規事業を形にして事業を伸ばしてきたが、ベンチャー企業では1年ごとに評価が問われ、下手をすれば次の年がない。4年間の任期をいただける都議の仕事は難しい課題でもじっくり取り組めるはずだと考え、計画を立てて粘り強く仕事をしてきた。日常活動については大変でしょうと言われることもあるが、元々青梅の文化、風土が好きだったので苦になるものではなく、都議となり市民の皆さんからいろいろ教えていただくのはありがたい。皆さんに会い、話を伺えることに喜びを感じている。

第1党は自民党に譲ったが、都民ファーストの会は基盤を強固にした。7月の参院選では国政進出を表明している。国民民主との連携も注目される。

森村 東京を元気にすることは全国を元気にする。バブル崩壊後、我が国は国際競争力を失ってきたと言われているが、それでも競争力を維持しているのが東京だ。日本の未来のためにも、東京がもつ力を活性化させ、全国に活力を還流させていかなくてはならないと考えている。また、小池都知事は昨年、過度の疲労を理由に2度入院

街づくりのバトンタッチ

秋川市とあきる野の市政を担った白井孝氏には「青年市長」の呼び名がよく似合った。政治へのデビューは1967年、26歳のとき。舞台は旧秋多町議会。以後、市制施行で誕生した秋川市の議員を経て77年、市長に当選。全国最年少市長として話題を集めた。

「私が生まれた69年には、すでに町会議員。そんな父の政治活動をはじめ意識したのは小学校2年生まで、何かあると「市長の息子」といわれ続け、嫌でたまらなかつたという。学園生活を満喫できたのは知人のいない中央大学付属高校に入ってからだ。

あきる野市議 白井建氏



親を支える人脈を広げた。いとこの深謀遠慮があったに違いない。

「幸い、総務局や政策報道室など主要な部署に配属され、比較的早い時期に管理職にも登用された。結果的に25年間勤務も順調に昇進している。ものごとを動かせる人脈はある野市の街づくり



父の背中

「そのころはまだ政治家志望ではなかった。中大の法学部に進み、そこで父がよく語っていた地方自治について講義を受け興味を持った。在学中に4期目をめざす市長選

が あったが、秋川市をスポーツと音楽の街にという父のスローガンは魅力的だったと思う」

おそらく、このころから建氏には政治への意欲が芽生えたのだろう。卒業と同時に東京都に入庁。最大の自治体で行政能力を磨きをかけているのさることながら、都と連携し秋川流域の発展を進める父

に役立つはず」

建氏があきる野市議会議員に初当選したのは2017年。大先輩でもある父から託されたのは、あきる野市の将来。それを確かなものにするために、いつもアドバイスをくれたのが、市民の話をよく聞き、仲間を信頼するという政治信条だ。

黒茶屋

あきる野市小中野167 ☎042-596-0129
令和4年2月の営業
平日 11時~15時受付(17時閉店)
土日祝日 11時~15時、17時~19時受付(21時閉店)
定休日:毎週火曜日、および水曜日は不定休

晴の庵

あきる野市小川633 ☎042-559-8080
令和4年2月の営業
日~木曜日 11時~15時受付(17時閉店)
金土祝日 11時~15時、17時~19時受付(21時閉店)
定休日:毎週火曜日、および水曜日は不定休

井中居

青梅市藤橋2-32 ☎0428-30-1661
令和4年2月の営業
日~木曜日 11時~15時受付(17時閉店)
金土祝日 11時~15時、17時~19時受付(21時閉店)
定休日:毎週火曜日、および水曜日は不定休

2月13日(日)まで 酒類提供は20時まで
同一グループ同一テーブルは原則4名様まで
※営業内容は変更になる場合があります。
お越しの際はホームページが電話でご確認ください。

格差の是正は弱者救済に留まらず、社会の構成員全体の益に繋がる

した。とりわけコロナ禍の中で都民を守るためには、小池都知事の他にも国とやり取りできる国会議員が必要だという話が上がった。ファーストの会を立ち上げ、国政に進出することになったのはこう感じたのだろうと思う。

よって自身の意思とは異なる形で抑圧されたり、虐げられてきた人々をエンパワーメントしていくことに強いこだわりをもっていると感じている。とりわけ女性政策については非常に大切にしていると感じるが、都民ファーストの会は代表と特別顧問である知事が女性

性であるのが特徴的だと思う。ファーストの会は、外交安保は専守防衛と平和主義の中で現実的路線、エネルギー政策については脱炭素が基本だが、原発についてはできるだけ早期に依存しなくてよい社会を作るために、省エネ・再エネの具体的な促進策を丁寧積み重ねていくことにならう。

経済政策で、森村都議自身、アベノミクスと岸田政権の新しい資本主義をどう評価しているか。

森村 デフレを脱却し、2%のインフレ目標を掲げ、異次元の金融緩和を行ったアベノミクスは円安を進め、株価を大きく引き上げた。このことは民主党政権下における金融政策、経済政策に強い不満をもっていた自分としては評価に値すると思うっており、当初は拍手喝采だった。しかしながら、インフレ目標は達成できず、金融政策を平時のそれに戻す機会を失ったまま、財政出動が続く現在の状

況がこのまま進めば、将来は一体どうなってしまうのかと不安だ。また、規制緩和が進まらず成長産業をつくれなかったのは我が国の国際競争力の維持にとって本当に厳しい事態を招いている。岸田内閣の新しい資本主義には関心を持っている。分配政策は大事だ。小泉竹中改革で2004年に派遣法が改正され、製造業への派遣も可能になり、ほぼ全業種に広がった。非正規社員

の増加は社会を二分する労働構造をつくり、格差社会を増大させた。成長は格差を生み、手立てとして公正な分配は必要だ。格差の是正は単に弱者救済に留まらず、社会の構成員全体の益に繋がると信じている。例えば、世界で新型コロナウイルス感染症が収まらないが、先進国では3回目のワクチンの接種が進む一方で、途上国の人にはワクチンが全然行き渡らない。こうした

途上国の方々にもワクチンを提供し、感染を抑えるとともに、公衆衛生の概念を広め、実践してもらうことが大切だ。コロナ対策でも経済で取り残される人たちが多くいる限り、社会は安定しない。

安倍政権、菅政権は市場と対話してきただから株価も上がった。だから株価も上がった。岸田政権は金融株主配当を高めるなどの株主配当策よりも賃金を上げるよう求めている。

る政策もセットで進めていく。青梅市選出の都議としての取り組みは、森村 市政は市長と市議会が担っており、都議としての権能は限られていないため、やれることとやれないことがあるが、考えが一致すること、協力を求めること、協力を求められたことは力を尽くしていきたい。青梅インターチェンジ周辺への物流拠点整備は早ければ年度内にも大きく進展が見込める可能性がある。物流拠点が整備されれば、これまで以上に大型車両の通行量が増えるため、インター出口付近の動線の整理や、周辺道路の整備を行い、渋滞解消や住民の安全確保策を平行して行わなければならない。そうした面でも、力を尽くしたい。災害対策にも力を入れてきた。都道や河川の管理を担う都と連携して、防災時にも迅速に復旧できる体制を整えていく。自然豊かな西多摩の環境をいかして観光振興や住民生活の質の向上につながる施策に取り組み、地域の魅力向上につなげたい。住民の幸福度が増す政策

がソフト、ハードの両面で必要だ。森村 都議は子育て中の父親でもあるが、森村 5歳と1歳の子どもがいる。青梅は子育てするには素晴らしい地域だと感じる。ただ、課題もある。市民の中でも小学校における学力の低さやいじめの問題に課題感を抱く人が多い。都教育委員会と連携して、改善に向けた取り組みを提案したい。例えばいじめ対応は教職員の役割が非常に大きい限界もある。第3者の専門家を教育委員会のチームで解決に当た

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す

る。2022年度までに短期集中で取り組む7つの「コア・プロジェクト」と、各局サービスでの在り方や仕事の進め方そのものの改革を進める「各局リーディング・プロジェクト」を進めていく。DXは世界の都市間競争を勝ち抜くためにも重要な要素で、今後、都政の1丁目1番地の政策になる。一方、高齢者などを取り残さないよう、デジタル格差を是正す



小池都知事を支え都政に取り組む森村都議

青梅IC付近の動線や周辺道路整備に尽力 地域の魅力向上 幸福度が増す政策推進

森村 私の感覚では、小池都知事は国会議員時代、国益重視の視点から外交、安全保障は保守的立場をとっていたが、都知事としての職責のなかではこうした点にはほとんど触れてこなかった。内政（都政）については社会的公正や多様性、人権を重視するリベラル的な政策を数多く実現してきたのが大きな特徴で、歴史的、社会的な環境や慣習などに

異株の発生につながれば、グローバル経済に完全に関与できなくなってしまうのかと不安だ。また、規制緩和が進まらず成長産業をつくれなかったのは我が国の国際競争力の維持にとって本当に厳しい事態を招いている。岸田内閣の新しい資本主義には関心を持っている。分配政策は大事だ。小泉竹中改革で2004年に派遣法が改正され、製造業への派遣も可能になり、ほぼ全業種に広がった。非正規社員

の増加は社会を二分する労働構造をつくり、格差社会を増大させた。成長は格差を生み、手立てとして公正な分配は必要だ。格差の是正は単に弱者救済に留まらず、社会の構成員全体の益に繋がると信じている。例えば、世界で新型コロナウイルス感染症が収まらないが、先進国では3回目のワクチンの接種が進む一方で、途上国の人にはワクチンが全然行き渡らない。こうした

途上国の方々にもワクチンを提供し、感染を抑えるとともに、公衆衛生の概念を広め、実践してもらうことが大切だ。コロナ対策でも経済で取り残される人たちが多くいる限り、社会は安定しない。

安倍政権、菅政権は市場と対話してきただから株価も上がった。だから株価も上がった。岸田政権は金融株主配当を高めるなどの株主配当策よりも賃金を上げるよう求めている。

森村 デフレを脱却し、2%のインフレ目標を掲げ、異次元の金融緩和を行ったアベノミクスは円安を進め、株価を大きく引き上げた。このことは民主党政権下における金融政策、経済政策に強い不満をもっていた自分としては評価に値すると思うっており、当初は拍手喝采だった。しかしながら、インフレ目標は達成できず、金融政策を平時のそれに戻す機会を失ったまま、財政出動が続く現在の状

況がこのまま進めば、将来は一体どうなってしまうのかと不安だ。また、規制緩和が進まらず成長産業をつくれなかったのは我が国の国際競争力の維持にとって本当に厳しい事態を招いている。岸田内閣の新しい資本主義には関心を持っている。分配政策は大事だ。小泉竹中改革で2004年に派遣法が改正され、製造業への派遣も可能になり、ほぼ全業種に広がった。非正規社員